

氏神だより

岸和田市中井町2丁目7番1号
ぎ 夜 疑 神 社
宮 司 原 充 昭
TEL 072-445-2191
FAX 072-444-9419

◆ 神棚と日本人の暮らし

わが国は、戦後の高度経済成長により目覚ましい発展を遂げてきました。それとともに、日本人の生活様式や生活のリズムも随分と様変わりしてきました。

しかし、そんな時代になっても日本人には、お正月やお盆には

里帰りをし、また、人生の節目に神社にお参りするなどといったことが習慣としてすっかり定着しています。

それは、神さまを自分たちの祖先と考え、生命を神さま

からいただいで生きているという、日本人の伝統的な生命観が無意識のうちに受け継がれているからでしょう。

日本人にとって神さまは、自分たちの生活とかけ離れた存在ではなく、ともに生きる身近な存在なのです。それは、「お天道さまが見ている」とか「バチが当たる」という言葉をよく耳にすることからもわかります。

各家庭に神棚があるのも、神さまとともに生きる日本人の暮らしの表れです。人生に

氏子地域

中井地・吉井地・荒木地・箕土路地・下池田地・西大路地
大町地・小松里地・額地・額原地・池尻地・並に泉北郡忠岡町北出地・同高月地の各地域

は、自分の意志ではどうすることもできないことがたくさんあります。しかし、神棚をおまつりして毎日の無事を祈り、「神さまのおかげ」をいただきながらさまざまなことを乗り越え、一つ一つ年を重ねてゆくからこそ、年を祝うことに特別な意味があるのです。



神棚は、目の高さより少し上におまつりし、お神札が南か東に向くのが一般的ですが、間取りによっては

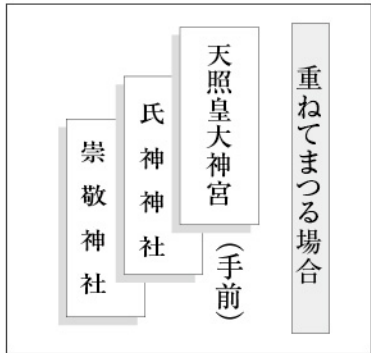
おまつりにふさわしい明るく清らかな場所であれば良いでしょう。また、神棚のない家庭で

は、タンスや書棚の上に白い紙を敷き神棚が整うまでおまつりするの也不错でしょう。

お神札のまつり方



横に並べてまつる場合



重ねてまつる場合



おまつりの一例

祝日には国旗を掲げましょう。

みこ ふくむすめ 巫女・福娘 募集

元旦の「巫女」
戎祭の「福娘」の社頭へ奉仕をしていただけませんか。

巫女 一月一日(月)
福娘 一月九日(火)午後
十日(水)

十八歳〜三十歳の未婚の女性。御希望の方は、事前に御連絡の上、履歴書(写真要)をお持ち下さい。
巫女のみ、福娘のみの希望も可。時間・ご奉仕料等は、お問い合わせ下さい。



正月行事のご案内

一日 歳旦祭
浪速神楽奉納
・午前10時〜午後三時半
(初穂料二千円から)
二日〜会社・工場の操業安全
各種団体の新年祈禱
家々の家内安全祈願 (要予約)
九日〜十日 えびす祭
福笹、吉兆等授与
・九日、十日
午後六時より 浪速神楽奉納
※元旦の日中は駐車場が大変混雑致します。できるだけ徒歩・自転車にてご参拝下さい。

